

2021 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題

特別選抜「社会人入試 2 期、海外帰国生徒入試 2 期、外国人留学生入試 2 期」

入試問題様式

試験科目：「小論文」

日 程：2020 年 2 月 2 日 (火)

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

芸術 学部 芸術 学科 音楽 領域

対象コース： _____

[課題]

コロナ禍における音楽の役割について、あなたの考えるところを述べなさい。

[出題の意図等]

新型コロナウイルスによる生活の変貌によって音楽をめぐる状況はかなりの変化を余儀なくされた。渦中であって本学音楽領域を希望する受験生には、それぞれの希望進路に基づいた、人や社会に対する音楽の役割についての明確な考え、展望があることが望まれる。よってこの課題とした。

模範解答

2020年、新型コロナウイルス感染症が世界に拡がり、治療法もワクチンも無い中で多くの命が奪われた。そして現在も収束しない状況が続いている。日本においても政府から緊急事態宣言が出され、外出の制限や消毒、いわゆる3密を避ける、といったかつてない生活を我々も経験することとなった。

新型コロナウイルスは人の飛沫を介して感染するために、合唱のサークルやカラオケでクラスター（感染者の集団）が発生した。人が密集するイベントとして、クラシックコンサートやアーティストのライブ等も今まで通り自由に行うことができなくなり、感染予防対策を行っての開催が必須となった。人の集まるエンターテインメントは感染リスクが高いものの一つとなってしまった。

しかし自粛期間中において、インターネット上で様々なアーティストが歌を歌い、人々を慰め励まし、その輪が広がったことは記憶に新しい。さらに外出禁止期間中のイタリアにおいて、住居の窓から住民達と一緒に歌を歌って孤立感を和らげていた様子や、著名な音楽家が音楽を用いて医療従事者に感謝の気持ちを伝える様子を見る機会があった。人と自由に会うことができない状況でも、人は音楽を用いて思いを伝え、それが他者や自己をも勇気付ける、音楽の力や役割を実感させる出来事を経験した。一方、Web上でのライブ配信や、オンデマンドでの配信等が盛んに行われ、人が集まることのない音楽活動が拡がりを見せている。更に新しい技術の開発によるリモート合奏など、音楽の新しい表現方法の出現も考えられる。これらの状況は、生きていく上で音楽を必要とする人が多く存在することを示しているものと考えられる。

音楽を共有することで人は互いに励まされ、慰められ、勇気や希望を持つ。また人や社会とのつながりを実感する機会ともなり得る。コロナ禍にあっても、音楽は人と人との気持ちをつなげる重要なコミュニケーション手段としての役割を持ち、それは今後も変わることがないと確信している。